

ものづくりの楽しさと技術を誇りに地域とともに成長する デジタルと心で進める技術伝承

1996年に船舶・車両用機器のメンテナンス業を創業。独自の技術を磨き続け、現在は鉄道・バス用部品の製造も行う。車両向け金属便器の3D手板金加工や車両用特殊タンク等の特殊加工技術を持つ全国有数の企業である。国内大手企業からの受注を多数受ける等、サプライチェーンの重要な役割を担っている。職人によるアナログ技術に加え、近年は技術伝承にも注力、生産性向上のためのデジタル技術も積極導入。「人材」と「技術」を大事に、多様な顧客ニーズに対応し、さらなる技術の追求・挑戦を続けている。

所在地	福岡県宗像市江口83番5号	設立	1996年
電話/FAX	0940-62-0021/0940-62-0817	資本金	1,000万円
URL	https://hiromen.hp.gogo.jp/pc/index.html	従業員数	32人
代表者	代表取締役 畑 博一		



メンテナンス業で培った技術力を他の領域に応用し、新市場開拓にチャレンジ

同社はメンテナンス業で創業、大型船舶等、厳しい精度や厳しい品質管理が求められる受注にも対応してきた。こうした受注で培われた、ハンマー等の工具を使い流曲線のような微妙な立体形状を作り出す「3D手板金加工技術」、熱の影響が大きいアルミに100箇所を超える溶接を行いながら1mmの狂もなく加工する「卓越した溶接技術」は、大手企業の量産型プレス加工では実現できない多品種・少量生産を可能とする。現在では船舶だけでなく、鉄道・高速バスに市場を広げ、国内のみならず海外でも採用されている。



3D手板金加工製品

ものづくりの楽しさと技術力を誇りに地域とともに成長する企業を目指す

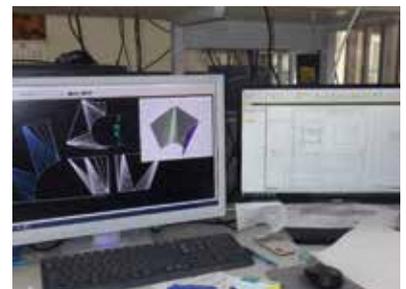
同社の強みである手板金加工については毎月「板金教室」を実施。社内外の人材を招聘し技能伝承や新技術の習得にも務めている。また、資格や経験よりも「ものづくりへの思い」を重視し、高校新卒者から他社定年退職者まで幅広い人材を採用。適材適所への人員配置や熟練工と若手社員の協業など、OJTによる技能伝承が円滑に行われる体制を構築している。こういった取組のなかで「ステンレス研磨」の内製化を進め、難易度の高い製品も一貫生産可能となり、生産性向上に繋がっている。



毎月の「板金教室」

事業継続力強化も考慮した計画的な設備投資を実施

同社は、2015年8月に自然災害による機械損傷等の被害を受けた経験から、事業継続力強化の取り組みに早くから着手。2017年には大型設備投資により福岡工場を新設。また、事務所、工場内のデータをすべてクラウド化、受注データ、図面、生産進捗、在庫管理を一元管理、現場の「見える化」が可能なシステムを自社で構築した。これらの取り組みにより、2020年に国の事業継続力強化の認定を受けるとともに、生産性の向上、適切な人員配置、社員の労働環境の改善で技術の磨きあげに注力できるようになった。



本社、福岡第1・第2工場を一元管理